

Top Message



代表 佐藤 修朗

自動車業界大変革の時代にみなさんと挑戦し続けたい

1986年、福島トヨペットは創立30周年を機に、新しいグループ名称を「I & Iグループ」と改めました。InnovationとIdentityの頭文字2つでI & I。現状に甘んじることなく常にイノベーション(革新)を繰り返しながら、私たちならではのアイデンティティ(独自性)にあふれた商品・技術・サービスをお届けし、社会に貢献したい、という願いを込めて命名しました。

「自動車業界は100年に一度の大変革期を迎えた」と言われており、それは同時に大きなビジネスチャンスの訪れであるとも捉えています。自動車業界の新時代に向けて、私たちはグループのそれぞれの持ち味を生かし、足し算を掛け算にしていきたい、みなさんと共に挑戦し続けたいと考えています。福島県という、この愛すべき地で、一所懸命、明日への挑戦をご一緒にしてみませんか。

社員満足向上の先にある「働きやすい職場」

福島県のカーライフを支える「I & Iグループ」には、主に3つの会社がある。「福島トヨペット」「ネットトヨタノヴェルふくしま」「ダイハツ福島」だ。まずは、各社で行われている「働きやすい職場づくり」の取り組みの一部を紹介していこう。

福島トヨペット

60年という長い歴史の中で築かれた研修体制を持つほか、「REBORN活動」を推進している。これは役職や肩書きを超え、ダイアログ(対話)を通して社員同士が意識を高め合おうという取り組み。常により良い会社づくりを目指そうという、同社の姿勢を示している。

ネットトヨタノヴェルふくしま

新しい客層を広げるため生まれた販売会社ということもあり、若い感性やチャレンジを応援しようときさまざまな制度を設けている。中でも「ビッグブラザー制度(BB制度)」は、新入・先輩社員が「共

育ノート」を通じたOJT(現場訓練)により、共に成長していこうという画期的な取り組みとなっている。

ダイハツ福島

軽自動車シェアNo.1を誇るダイハツ車を取り扱い、若い女性の客層を中心に、スタッフも女性の活躍が目立つ。社員の働きやすさを重視するため「ES向上プロジェクト」を立ち上げ、より良い会社づくりに励んでいる。

こうした試みや三社の特性

は、社員一人ひとりから想いを集め掲げた「クルマを通してすべてのお客様に感動を。クルマを超えて福島を幸せに。」という「I & Iビジョン」から生まれる。多様な顧客ニーズに対応するだけでなく、多才な人材の呼び水にもなっている。いわゆるピラミッド構造ではなく、輪の中にみんながいる、そんなイメージが「I & Iグループ」の組織。役員も社員と同じフロアで働くなど、「風通しが良いところはきつとどこにも負けない」と、スタッフたちは胸を張る。

トヨタ I & I グループ (福島トヨペット / ネットトヨタノヴェルふくしま / ダイハツ福島)

自動車や保険・携帯電話等の販売、自動車のメンテナンス、アフターサービス



採用情報・各種申し込み・問い合わせはこちら

“クルマを通してすべてのお客様に感動を。クルマを超えて福島を幸せに。”



会社情報



- 設立 1926年(昭和元年)第一タクシー商会
- 代表 佐藤 修朗
- 資本金 1,000万円
- 従業員数 1,140名(2023年1月現在)
- 拠点数 59店舗
- 福島トヨペット(株) TEL/024-946-1111 <https://fukushima-toyopet.co.jp/>
- ネットトヨタノヴェルふくしま(株) TEL/024-947-1011 <https://www.novel-f.co.jp/>
- ダイハツ福島(株) TEL/024-947-0911 <https://daihatsu-fukushima.co.jp/>

- 求人対象 高卒 専門卒 短大卒 大卒 中途

- インターンシップ 可能 [体験期間] 2日 [申込方法] 電話・FAX・メール

- 採用担当者連絡先 福島トヨペット: TEL/024-947-0910 ネットトヨタノヴェルふくしま: TEL/024-947-1011 ダイハツ福島: TEL/024-947-0911

企業の魅力

- 1 世界のトヨタ品質を顧客に
- 2 グループ力を生かしてクルマの未来に貢献
- 3 社員間のチームワークや風通しが良い

業務内容

- 自動車販売・買取・自動車部品販売(福島トヨペット・ネットトヨタノヴェルふくしま・ダイハツ福島) トヨタ全車種、レクサス、ダイハツ、フォルクスワーゲンの新車販売及び点検・整備、修理業務、アフターサービス、各種U-Carの販売・買取、KDDIグループの携帯電話販売、保険代理店業
- トヨタレンタリース新福島 自動車のレンタル業務
- ジェームス福島 自動車部品の販売業務
- 第一モーター
- アイアンドアイ

編集部スタッフが見たトヨタ I & I グループ

取材を通じてグループ3社に対して抱いた印象は「人柄の良さ」。部署を問わず、「この人なら自分の車を任せてもいい」と思えるような誠実な人ばかり。社内の上下関係もソフトで、入社歴の浅い社員もイキイキしていました。



4



3



2

- 1 若さと元気がみなぎる「福島トヨペット」「ネットトヨタノヴェルふくしま」「ダイハツ福島」のスタッフたち
- 2 3ディーラー合同で行うエンジニア研修の様子
- 3 新入社員が3ヵ月ごとに行う「振り返り研修」の様子
- 4 「I & Iビジョン」。社員全員から集めた想いを形にした。思い入れのあるビジョンだ

先輩スタッフに聞きました 仕事のあれこれQ&A

Q 営業スタッフって、飛び込みで一軒一軒訪ねたりするんですか？

A 当社はお客様に直接店舗へご来店いただく「来店型」の営業スタイルです。年に数回しかお会いできないお客様と出来るだけ多くお話をし、その方に合ったご提案をしています。新人の頃から上司に営業のコツなどを学び、すこしずつ前進しています。



ネットトヨタノヴェルふくしま 営業
佐藤 巧巳さん(2022年入社)

Q ノルマはありますか？

A ノルマはありませんが、達成するための販売目標があります。目標に向けて自分で考えて行動して達成できた時はとても達成感があり、上司も一緒に喜んでくれます。お客様の笑顔もやりがいにつながっています。



福島トヨペット 営業
神沼 菜奈さん(2022年入社)

Q 目標としていることは何ですか？

A 女性の営業職らしい気配りを大切にしながら、地域の方々に寄り添ったカーライフのサポートができる、魅力ある人材になることが目標です。アットホームな雰囲気の中で、メリハリをつけて指導いただく先輩には感謝しています。



ダイハツ福島 営業
佐野 静香さん(2020年入社)

Q クルマについて知識がないのですが大丈夫ですか？

A 車の知識はあるに越したことはありませんが、思うほどなくても心配ありません。カタログの見方や車種ごとの特徴を把握することで要点は伝えられます。また何より大切だと思うのはお客様の情報を聞き出し、一緒に楽しみながら話すことだと思います。



ダイハツ福島 営業
大和田 光太郎さん(2016年入社)



「スペシャルオリンピックス」を通じて、知的障害のある方とスポーツを楽しみながら共に成長につなげる活動を行っている

3つの「満足」サイクルを回し、前向きに向上
「I&Iグループ」では社員満足(E.S)の向上こそが何より大切だと考えている。社員の満足度が高まれば、顧客にも寄り添ったサービスを提供できるようになる。そうして顧客満足(C.S)が高まれば、企業体満足(D.S)も増していき、そこで生まれた利益を社員に還元することができる。このような3つの「満足」のサイクルを回し続け、常に向上を目指している。

E.S向上のために、アンケートによる社員満足調査を行い、プロジェクトチームにより今後の取り組みの話し合いが行われる。このE.Sプロジェクトチームでは、役員と社員双方がメンバーとなり意見を交換する。これは「社員みんながチームなのだから、役職や肩書きなど関係なく一緒にやっつけていこう」という代表の考えによるもの。販売に関してもノルマは設けず、社員が自ら取り組む姿勢を大切にしている。

また、近年、子どもの課外活動や競技大会出場により、職場が忙しい土・日に休みを希望する社員のために、労働契約の制度設計も進めている。さらに、仕事の楽しさがC.Sに繋がると、社員のチャレンジ精神を汲み取ってくれる環境もある。こうした社風により若手スタッフからは「上司にも話しかけやすく、社員同士の仲が良く働きやすい職場」という声が多い。

人を育てる環境がある、愛(I)のあふれる会社
「I&Iグループ」の各

ディーラーではレクサス、トヨタ、ダイハツ、フォルクスワーゲンといったブランドを擁している。豊富な車種を取り扱い、しかもディーラー間で相互に販売・整備を行えるため、幅広い客層に対応できることが強みである。

さらにグループ内では、「トヨタレンタリース」店舗でのレンタル事業のほか、カー用品販売の「ジェームス」での他メーカー車ユーザーとの交流も日常的に行う。自動車全般はもちろん、情報通信までさまざまな分野で地域と繋がっているのは、郷土福島に深く貢献したいという思いがあるからだ。

すでにトヨタ全販売店では「全車種併売化」が行われており、今までの「乗りたい車で販売店を選ぶ」時代から、「そこで働くスタッフで店を選ぶ」時代へと変化した。今後さらにお客様から選ばれる人づくりが大切になってくる。「I&Iグループ」には、その人づくりに尽力する気風がある。社員の主体性を大切に、上司の温かいサポートとチームワークが揃った、愛(I)にあふれる会社として、これからも進化していくに違いない。



県内各地で交通安全教室を開催

人気の「ふくしまキッズマン」と保育園や幼稚園に出向き、交通安全の大切さを伝えている



子ども思いのキッズルーム

「ダイハツ福島」店内のキッズルーム。待ち時間に子どもが自由に過ごせるスペースを提供(川向店)



グループ3社ともに「くるみん認定」

グループ3社それぞれに仕事と子育ての両立支援に取り組んでいる「くるみん認定」を受けている